2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	機能障害学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	森下 昇	実務経験とその関連資格	理学療法士(2007年)、心臓リハビリテーション指導士、呼吸療法認定士 急性期～在宅までセラピストの運営管理・実務を経験		

《授業科目における学習内容》

リハビリテーション医療従事者が治療ターゲットとしている『機能障害』について、現段階で明らかになっている知見を学び、病態が異なる個々の対象者に対して必要な治療が何であるのか、その問題解決能力の向上を図る。

《成績評価の方法と基準》

定期試験、出欠および受講状況から総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

機能障害科学入門(神陵文庫)

《授業外における学習方法》

授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習を行をすること。

《履修に当たっての留意点》

教科書および配布資料を中心に講義を行います。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症の定義・原因・分類・発生メカニズム・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 炎症の原因や治療等について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	炎症		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性痛の定義・原因・分類・発生メカニズム・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 急性痛の原因や治療等について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	急性痛		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	慢性痛の定義・原因・分類・発生メカニズム・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 慢性痛の原因や治療等について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	慢性痛		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	創傷や靭帯損傷の定義・症状・治癒過程・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 靭帯損傷の症状や治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	創傷、 靭帯損傷		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	腱損傷や骨折の定義・症状・治癒過程・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む 30分 (事後学習) 腱損傷や骨折の症状や治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	腱損傷、 骨折		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋損傷の定義・症状・治癒過程・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	（事前学習） テキストを読む 30分 （事後学習） 筋損傷の症状や治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	筋損傷		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経損傷の定義・特徴・病態・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	（事前学習） テキストを読む 30分 （事後学習） 腱損傷や骨折の症状や治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	基礎医学系の問題について、グループワークで解説作り及び口頭試問を行う。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋萎縮の定義・原因・分類・特徴・治癒過程・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	（事前学習） テキストを読む 30分 （事後学習） 筋萎縮の原因や治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	筋萎縮		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節可動域制限の定義・分類・発生メカニズム・特徴・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	（事前学習） テキストを読む 30分 （事後学習） 関節可動域制限の定義・分類について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	関節可動域制限（1）		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節可動域制限の定義・分類・発生メカニズム・特徴・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	（事前学習） テキストを読む 30分 （事後学習） 関節可動域制限の発生メカニズムについて復習する 30分
		各コマにおける授業予定	関節可動域制限（2）		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節可動域制限の定義・分類・発生メカニズム・特徴・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	（事前学習） テキストを読む 30分 （事後学習） 関節可動域制限の特徴・治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	関節可動域制限（3）		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経障害の定義・分類・発生メカニズム・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	（事前学習） テキストを読む 30分 （事後学習） 中枢神経障害の治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	麻痺		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋トーヌスの定義・分類・評価・発生メカニズム・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	（事前学習） テキストを読む 30分 （事後学習） 筋トーヌス異状や治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	筋トーヌス異状、 協調運動障害		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	意識障害や高次脳機能障害の定義・分類・評価・発生メカニズム・治療などについて理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	（事前学習） テキストを読む 30分 （事後学習） 高次脳機能障害の分類や治療について復習する 30分
		各コマにおける授業予定	意識障害、 高次脳機能障害		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	機能障害全般を振り返る。	指定テキスト 配布資料（適宜）	（事前学習） テキストを読む 30分 （事後学習） 機能障害全般の振り返り 30分
		各コマにおける授業予定	まとめ		